

電気・ガス・熱供給・水道業

支援先企業の概要			
・業種	電気・ガス・熱供給・水道業		
・創業後年数（10年未満であれば）	<input type="text"/>	・企業規模（中小企業者に該当する場合には）	<input type="text"/>
経営支援前の企業の状況			
・ コア事業であるガス業、燃料小売業、建設業では相応の収益力が認められる企業グループであったが、不採算事業である関連会社に多額の資金流出があり、金融機関からの資金調達が困難になる中、コア事業自体の資金繰りも逼迫し、グループ企業全体が存亡の危機にあった。			
経営支援概要			
< 当行の施策 >			
・ グループ企業のうち、根幹企業については、地域のインフラを担うなど極めて公共性の高い事業を営んでおり、経営破綻に陥れば、地域経済に大きな影響を及ぼすことが懸念されたため、コア事業とノンコア事業の分離独立を目指し、収益力の認められるコア事業の存続、ノンコア事業については清算する計画を立案した。			
・ 信用力のあるスポンサー企業の支援を前提とした抜本的な事業再生計画を策定した。			
・ 具体的には、スポンサー企業への営業譲渡、会社分割を利用した株式譲渡など、M&Aを利用した本格的な事業再生スキームを実行			
< 当該企業の施策 >			
・ メインバンクである当行から派遣された出向者を中心に、代理人弁護士等専門家とも連携しながらスポンサー企業との交渉等に注力した。			
・ 債権者説明会の開催、個別交渉等を通じ、金融支援に対する理解、協力を求めた。			
経営支援後の企業の状況			
・ コア事業については、スポンサー企業の人的、資金的支援を得ることができ、再生を果たした。			
・ 抜け殻会社、ノンコア事業については、清算手続中である。			